担当部署
生涯学習課文化財G

1 事務事業(予算)項目

事業コード	3 教育文化 3 芸術文化	2 文化財保全 〇	予算(款項目)	2-1-1 (23)
事 業 名	町史編	事業期間	R6~R6(1年間)	

2 事務事業内容(事前評価)

目 的	全体概要		費用(C)	効果(便益)(B)
・新たに編さんする『白老町史』は『新白老町史』の追補として位置付ける「平成史」とし、2024年度の町制施行70周年記念事業として刊行する。	・本町は1954年11月に町制を施行し、歴代町史は町制20周年記念として1975年に『白老町史』、開基40周年を記念し1992年に『新白老町史』を発刊した。	費用	予算額 15,146千円	B:15,146千円
個別計画	法令等	B/C	1.	0

3 年度計画と予算・財源(事中評価)

		年度区分	6年度(当初)	6 年度(11号)	年度 (号)	現計予算額
年		要事務事業内容 しくは変更点)	・町史編さん委員会の開催 ・町史編さん業務の委託 ・町史〔平成版〕の発行 ・業務管理	・町史編さん委員会の開催回数の増		
	予算額		15,146,000	10,000	0	15,156,000
度	財	国庫支出金				0
	源	道支出金				0
	内	地 方 債				0
計	訳	その他	15,146,000	10,000		15,156,000
ш	ا/ب	一般財源				0
	科	1節 報酬	157,000	10,000		167,000
画		8節 旅費	9,000			9,000
	内	10節 需用費	20,000			20,000
	訳	12節 委託料	14,960,000			14,960,000
	٦/١	節				0

4 決算・成果(事後評価)

+ ,	4 次异:风未(争佞計画)						
		年度区分	6年度決算額	現計予算残額	成果・効果	改善点・見直し	
		決 算 額	15,153,314	2,686	成 果(アウトカム)	改善点(アクション)	
	п	国庫支出金		0	・町民団体や職員の協力	・資料(紙ベース・デー	
決	財	道支出金		0	を得て、町制施行70周年	ターとも)の収集に困難	
人	源	地方債		0	記念事業として『白老町 史〔平成版)』を発行す	を極めたことから、次回 の発行に向けては町主導	
<i>/</i> =/-	内	その他	15,153,314		ることができた。町史は	で今から全職員がこれを	
算	訳			·]	共有し、普段から資料や	
		1節 報酬	166,800	200	み継がれていく資料であ	データーを蓄積していく	
•	科	8節 旅費	6,736	2 264		考え方が必要。とりあえ	
	目		·		ないよう慎重に作業を取	ずLドライブ「■永久保	
成	内	10節 需用費	19,778	222	り進めた。	存・白老町史〔平成版〕	
	訳	12節 委託料	14,960,000	0		関連資料」に収納。	
果	ا ام	節		0			
			事務事業内容(アウトス	プット)			
	± 4		・令和2年度から町史線	扁さん委員会(白崎浩司勢	委員長)を20回開催し、⁴	令和7年3月に『白老町	
	事務	事業評価	史〔平成版〕』(総頁数	枚1,104頁)を500冊発行す	することができた。総事詞	業費は38,943千円。	

R6 B/C 15,153,314/15,153,314 = **1.0**

担当部署	教育課文化財係
------	---------

1 事務事業(予算)項目

事業コード	3 教育文化 3 芸術文化 2 文化財保全 〇	予 算(款項目)	10-4-4 (1)
事 業 名	文化財行政事務経費	事業期間	1年間

2 事務事業内容(事前評価)

目 的	全体概要	区分	費用(C)	効果(便益)(B)
・文化財の保存及び活用等、文化財行政の推進を図る。	・文化財の保存及び活用等、文化財行政事務全般・白老町文化財等運営審議会の開催・文化財保存2団体への補助金交付	費用便益		
個別計画	法 令 等 文化財保護法	B/C		

3 年度計画と予算・財源(事中評価)

		年度区分	6年度(当初)	年度 (号)	年度 (号)	現計予算額		
年		ととは変更点)	・文化財の保存及び活用・文化財行政事務全般・文化財等運営審議会開催・保存団体への補助金交付					
	予算額		269,000	0	0	269,000		
度	財	国庫支出金				0		
及	源	道支出金				0		
	内	地 方 債				0		
計	訳	その他				0		
н	九	八	八	一般財源	269,000			269,000
	科	1節 報酬	17,000			17,000		
画	目	8節 旅費	12,000			12,000		
	内	18節 負担金	240,000			240,000		
	訳	節				0		
	/	節				0		

4 決算・成果(事後評価)

4 .	4						
		年度区分	6年度決算額	現計予算残額	成果・効果	改善点・見直し	
		決 算 額	269,000	0	成 果(アウトカム)	改善点(アクション)	
	口上	国庫支出金		0	・伝統文化継承者の指	・伝承者の高齢化と次	
決	財	道支出金		0	定と伝承者の活動に焦	代を支える伝承者の成	
	源	地方債		0	点を絞った展示会など	り手が不足している。	
算	内	その他		0	を実施した。		
早	訳		269,000	0	-		
	科	1節 報酬	17,000	0			
		8節 旅費	12,000	0			
成		18節 負担金	240,000	0			
	訳	節		0			
果	八百	節		0	1		
	事務事業内容(アウトプット)						
	事務事業評価・文化財の保存及び活用等、文化財行政の推進を図っている。						

担当部署教育課文化財係	
-------------	--

1 事務事業(予算)項目

事業コード	3 教育文化 3 芸術文化	2 文化財保全 〇	予算(款項目)	10-4-4 (2)
事 業 名	文化財施設	g 管理経費	事 業 期 間	1年間

2 事務事業内容(事前評価)

E	的		全体概要	区分	費用(C)	効果(便益)(B)
・史跡白老仙台藩陣屋跡の維持管		・史跡白老仙台藩陣屋跡の維持管				
理等を行い、気	史跡の適切な維持管	理等経費		費用		
理と活用を図る	理と活用を図る。			便益		
個別計画 『	陣屋跡保存活用計画』	法 令 等	文化財保護法	B/C		

3 年度計画と予算・財源(事中評価)

		年度区分	6年度(当初)	年度 (号)	年度 (号)	現計予算額
年		要事務事業内容 しくは変更点)	・陣屋跡の快適な利用 に供するため、環境の 整備をおこなう。			
		予算額	6,377,000	0	0	6,377,000
度	財	国庫支出金				0
	源	道支出金				0
	内	地 方 債				0
計	訳	その他				0
Н)(i	一般財源	6,377,000			6,377,000
	科	10節 需用費	299,000			327,000
画	目	11節 役務費	152,000			124,000
	内	12節 委託料	5,926,000			5,926,000
	訳	節				0
	Π/	節				0

4 決算・成果(事後評価)

		年度区分	6年度決算額	現計予算残額	成果・効果	改善点・見直し
		決算額	6,352,398	24,602	成 果(アウトカム)	改善点(アクション)
	ПŢ	国庫支出金		0	・草刈り清掃業務など	・陣屋跡の老朽化が著
決	財	道支出金		0	の史跡の環境整備を委	しい。
	源	地 方 債		0	託したことにより、整	
算	内	その他		0	備が行き届き来場者か	
开	訳	一般財源	6,352,398	24,602	らも喜ばれている。	
	科	10節 需用費	305,905	21,095		
		11節 役務費	122,993	1,007		
成	内	12節 委託料	5,923,500	2,500		
//0		節		0		
果	訳	節		0		
		•	事務事業内容(アウト)	プット)		

・本誌知的価値を生かしたさらなる史跡の活用のためにも、整備計画の早期樹立と整備計画に基 事務事業評価でいた環境整備の実施が望まれる。

【執行評価用】

事務事業サイクル調書 (成果説明書)

担当部署	教育課文化財係
------	---------

1 事務事業(予算)項目

事業コード	3 教育文化 3 芸術文化	2 文化財保全 〇	予算(款項目)	10-4-4 (3)
事 業 名	史跡白老仙台藩陣屋跡	弥第2次環境整備事業	事 業 期 間	6~15 (10年間)

2 事務事業内容(事前評価)

目的	目 的 全体概要 [効果(便益)(B)
・本史跡を将来へ向けて確実に継承するため、本質的価値の一つである土塁のき損に繋がる恐れのある状況の改善や正確な形状の復元及び再整備を図る。・8年度から10カ年計画で整備を行う。・10年度に整備実績報告をまとめる。			町財源 8,547千円	・策定委員会開催・発掘調査・古文献等資料調査B:12,672千円
個別計画 皮片 大化財保護法 法 令 等 文化財保護法		B/C	1.	.5

3 年度計画と予算・財源(事中評価)

		年度区分	6年度(当初)	6 年度(10号)	6年度(11号)	6年度()	現計予算額
年		度事務事業内容 しくは変更点)	・整備基本計画策定委員会の開催 ・遺構確認のための発掘調査 ・古文献等資料調査	・増額補正	・減額補正	・財源振替	
		予算額	12,672,000	199,000	△ 305,000	0	12,566,000
	財	国庫支出金	2,250,000				2,250,000
度	源	道 支 出 金	1,875,000			△ 662,000	1,213,000
	内	地 方 債					0
	訳	その他					0
計	八百	一般財源	8,547,000	199,000	△ 305,000	662,000	9,103,000
		1節 報酬	1,589,000	199,000	△ 37,000		1,751,000
	科	7節 報償費	996,000				996,000
画	目	8節 旅費	395,000				395,000
	内	10節 需用費	527,000		△ 268,000		259,000
	況	12節 委託料	9,047,000				9,047,000
		13節 使用料	118,000				118,000

4 決算・成果(事後評価)

		年度区分	6年度決算額	現計予算残額	成果・効果	改善点・見直し
	決算額		12,251,300	314,700	成 果(アウトカム)	改善点(アクション)
	財	国庫支出金	2,249,000	1,000	・当初の予想以上の発	・国、道、整備基本計
		道支出金	900,000	313,000	掘調査成果が得られ史	画策定委員会等との連
決	源	地 方 債		0	跡白老仙台藩陣屋跡整	携を密にし来年度以降
	内	その他		0		計画を進めていく。
算	訳	一般財源	9,102,300	700	とができる。	
		1節 報酬	2,168,000	841		
	科	7節 報償費	959,000	4,816		
	目	8節 旅費	395,000	66,837		
成	内	10節 需用費	239,000	2,106		
	訳	12節 委託料	9,331,000	899,500		
果		13節 使用料	134,000	600		
			事務事業内容(アウト)	プット)		
	事務	落事業評価	・本質的価値を高められ	ιるよう白老仙台藩陣屋跡	整備基本計画に繋げるこ	ことができた。
	J' 17	7	B/C 12,251,300/9,102	2,300 = 1.3		

担当部署	教育課文化財係

1 事務事業(予算)項目

事業コード	3 教育文化 3 芸術文化	2 文化財保全 〇	予 算(款項目)	10-4-5 (1)
事 業 名	資料館	運営経費	事 業 期 間	1年間

2 事務事業内容(事前評価)

	目 的		全体概要	区分	費用(C)	効果(便益)(B)
 ・資料館の維持管理運営 ・所蔵資料の管理 ・展示会等の開催、資料館活動の実施 ・資料館報の編集発行 ・資料館報の編集発行 ・資料館報の編集発行 			F理 『など資料館活動の実施	費用便益		
個別計画	社会教育中期計画	法 令 等	博物館法	B/C		

3 年度計画と予算・財源(事中評価)

		年度区分	6年度(当初)	6年度(9号)	年度 (号)	現計予算額
年	年度事務事業内容 (若しくは変更点)		・資料館の維持管理運営・所蔵資料の管理・展示会等の資料館活動	・補正		
+-		予算額	3,180,000	177,000	0	3,357,000
	財	国庫支出金				0
度	源	道支出金				0
IX.	内	地 方 債				0
	訳	その他				0
計	٦/١	一般財源	3,180,000	177,000		3,357,000
П		7節 報償費	150,000	40,000		190,000
	科	8節 旅費	29,000			29,000
画	目	10節 需用費	1,567,000	137,000		1,704,000
	内	11節 役務費	179,000			179,000
	訳	12節 委託料	1,001,000			1,001,000
	D/	13節 使用料	216,000			216,000
		18節 負担金	38,000			38,000

4 決算・成果(事後評価)

「残額 成果・効果 改善点・見直し
294,279 成 果(アウトカム) 改善点(アクション)
0 ・資料館友の会に高校 ・更に入館者を増やす
0 生や小学生が入会し解 ため、友の会・おもて
説員として活躍してい なしガイド等と連携し
事業の展開を図る必要
がある。
294,279
4,999
6,000
226,457
1,229
13,474
39,120
3,000
様々な資料館活動を展開している。

担当部署 生涯学習課文化財G	生涯学習課文化財	当部署 生涯学習課文化財	à
----------------	----------	--------------	---

1 事務事業(予算)項目

事業コード	3 教育文化	3 芸術文化	2 文化財保全	0		予算	算 (請	次項目)	10-4-5 (2)
事 業 名	名 北海道遺産仙台藩白老元陣屋魅力向上事業					事	業	期	間	5~8(4年間)

2 事務事業内容(事前評価)

目的	全体概要	区分	費用(C)	効果(便益)(B)
・仙台藩白老元陣屋の大きな課題となっている周知や認知度の向上を積極的に図るため、来場を促す各種事業を展開し、来館者の深い学びに供する。	①資料館開館40周年記念特別展「蝦夷地の陣屋」の開催 ②資料館開館40周年記念シンポジウム「全道陣屋跡の現状と課題」の開催 ③除湿乾燥機の新設 ④フロアマップ作成、設置	費用便益	町財源 1159千円	・仙台藩白老元陣屋の周知や 認知度の向上を図るため、来 場を促す各種事業を展開し、 来館者の深い学びに供する。 B:1,759千円
個別計画	法 令 等	B/C	1.5	

3 年度計画と予算・財源(事中評価)

		年度区分	6 年度(当初)	6 年度(9 号)	6年度(11号)	6年度()	現計予算額
		隻事務事業内容 しくは変更点)	①資料館開館40周年記念特別展 ②資料館開館40周年記念シンポジウム ③除湿乾燥機新設	④フロアマップ作成、設置	減額補正	財源振替	
年		予算額	1,759,000	990,000	△ 207,000	0	2,542,000
	財	国庫支出金					0
	源	道 支 出 金	600,000			△ 100,000	500,000
度	内	地 方 債					0
	訳	その他	1,159,000	990,000	△ 207,000	100,000	2,042,000
	八百	一般財源					0
計		7節 報償費	112,000		△ 60,000		52,000
		8節 旅費	664,000		△ 58,000		606,000
	科	10節 需用費	372,000		△ 47,000		325,000
画	目	11節 役務費	50,000		△ 19,000		31,000
	内	12節 委託料	0				0
	況	13節 使用料	82,000		△ 22,000		60,000
		14節 工事請負費	0				0
		17節 備品購入費	479,000	990,000	△ 1,000		1,468,000

4 決算・成果(事後評価)

4									
		年度区分	6年度決算額	現計予算残額	成果・効果	改善点・見直し			
		決算額	2,505,667	36,333	成 果(アウトカム)	改善点(アクション)			
		国庫支出金		•	全道陣屋跡所在市町の	このネットワークを生			
	財	道 支 出 金	500,000	0	協力により開催した記	かした事業展開を行			
	源	地方債		0	念特別展及びシンポジ	い、陣屋の歴史的意義			
24	内	その他	2,005,667	36,333	ウムにより、念願と	や存在感を高めるため			
決	況			0	なっていたネットワー	の共同調査や研究など			
				<u> </u>	クが構築できた。	の取組が必要がある。			
算		7節 報償費	51,520	480					
		8節 旅費	605,190	810					
	科	10節 需用費	318,177	6,823					
	目	11節 役務費	31,000	0					
成	内	12節 委託料		0					
,,,,	沢	13節 使用料	53,940	6,060					
果		14節 工事請負費		0					
		17節 備品購入費	1,445,840	22,160					
	事務事業内容(アウトプット)								
			資料館開館40周年記念特別展「蝦夷地の陣屋」や資料館開館40周年記念シンポジウム「全道陣屋						
	事務事業評価跡の現状と課題」の開催などにより、道内陣屋跡市町村とのネットワークを構築し、幕末における陣屋の歴史的評価を高めることができた。								

B/C 2,505,667/2,005,667 = **1.2**